

「10の疑問から学ぶふくしま復興のあゆみ」



福島を応援する「ペコ太郎」

福島県では、震災と原発事故から間もなく15年が経過する中で、**福島県の復興の状況**をより多くの方に知っていただけるよう、**復興に関する10の疑問**に答える形で、図や写真でわかりやすくまとめた資料を作成しています。

「**福島県の復興って今どれくらい進んでいるんだろう…?**」と疑問に思った方や初めて福島を訪れる方などに是非ご覧いただければと思います。



福島県復興シンボルキャラクター「キビタン」

10の疑問

- (1) 地震と津波の被害はどれくらいだったの？
- (2) 原子力災害はどんなものだったの？
- (3) 放射性物質ってなんだろう？
- (4) 廃炉作業ってなんだろう？
- (5) ALPS処理水ってなんだろう？
- (6) 避難指示等区域ってなんだろう？
- (7) 福島の食生活はどうなったの？
- (8) 福島の観光はどうなったの？
- (9) 福島イノベーション・コースト構想ってなんだろう？
- (10) 風評被害ってなんだろう？

10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ▼



ページ一例

**10の疑問から学ぶ
ふくしま復興のあゆみ**

今年、東日本大震災と原子力発電所事故から15年が経過するとともに、震災150周年を迎える重要な年だ。この大きな節目の年に、「大ゾク展」や「ふくしまデジタル・インフォメーションキャンペーン」などを通じて、国内外から多くの方々に「来て」いただき、本県の新たな魅力を「見て」「触れて」「感じて」いただくことで、復興の進む「福島の中」を発信していきたい。

長編には、1月に実施したVISIT Fukushima アンバサダーを輩出させた福島県高等学校代表選による普通「フォーマンス」や「自中韓したれ桜並木（香多摩）」、「復活の法螺（越後）」などを取り上げているよ。

福島県
2026年3月25日発行

① 地震と津波の被害はどれくらいだったの？

2011年3月11日の地震は、マグニチュード9.0を記録し、国内観測史上最大級の地震だった。福島県では最大震度6強を記録し、地震で建物が倒れたり、土砂が崩れたりもした。海沿いの地域は、津波で大きな被害を受けたよ。

各地の震度と被害状況

地震被害：須賀川市
地震被害：白河市
津波被害：いわき市
津波被害：浪江町

この地震で亡くなった人は、4,181人※(2026年2月1日時点)。そのうち、地震・津波が直接の原因で亡くなった人は1,605人で、そのほとんどが津波によって亡くなった方なんだ。また、その後の避難生活などで体調を崩して亡くなった方は2,350人で、このようにして亡くなってしまったことを、「震災関連死」というよ。

※行方不明ではないが、亡くなったものとして追悼されている方など226名を含む

⑩ 風評被害ってなんだろう？

学や定で、福島県のもちやお米の産地が他の県よりも安いことや、観光客数が震災前の状況まで回復していないことを懸念したね。
間違った情報が広がることを「風評」といい、風評による誤解や思い込みで、福島県産のものや、福島県に来ることが避けられてしまうことを「風評被害」というよ。

海外や国内での状況

輸入規制をしている国、地域 55ヵ国 (2023年1月21日)	○風評に関する消費者意識の調査結果
福島県産食品の輸入禁止している国、地域 (12ヵ国) 中国、韓国、ロシア	○食品の購入に際しての調査 (2022年3月、消費庁)
福島県産食品の一部を輸入禁止している国、地域 (4ヵ国) 韓国、ロシア	＜食品中の放射性物質も気になる方＞
福島県産食品の輸入制限を強化している国、地域 (3ヵ国) 中国、韓国、ロシア	＜福島県産食品が輸入される方＞
	＜福島県産食品が輸入される方＞
	＜福島県産食品が輸入される方＞

福島県では、風評を取り除くために、県内の放射線量の状況などの正しい情報と、農林水産物や観光などの魅力を国内外に発信し取りこぼすことを進めているんだ！

福島県の魅力を発信

海外での農林水産物のPR
海外での農林水産物のPR
海外での農林水産物のPR

- 復興の基礎的な情報に加え、現状と課題等をまとめた「復興・再生のあゆみ」
- 復興の進捗をグラフ等を用いてまとめた資料集「ふくしま復興のあゆみ」
- 復興の状況・浜通り地域等15市町村のあゆみを視覚的にまとめた『「新生ふくしま」の実現に向けて』も作成しています。復興の状況について詳しく知りたい方は是非ご覧ください！

詳しくはこちら▼



お問合せ先

福島県 企画調整部 復興・総合計画課 E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp